

人物の気持ちを考えながら読もう

「サーカスのライオン」 川村 たかし

めあて

二の場面のじんざの気持ちの変化を考えよう。

場面	小見出し	( ) の心じょう曲線			
一	年取った じんざ	楽しい・元気がある やる気がある・うれい			
二	男の子と 出会った じんざ	さびしい・元気がな やる気がない・さしい			
三					
四					
五					

年取っている  
一日中ねむっている  
アフリカに帰りたい

「来てやっておくれ。きつとよろこぶだろうよ。」

大事な一文：本単元では、じんざの気持ちが大きく変わったことが分かる一文としてい

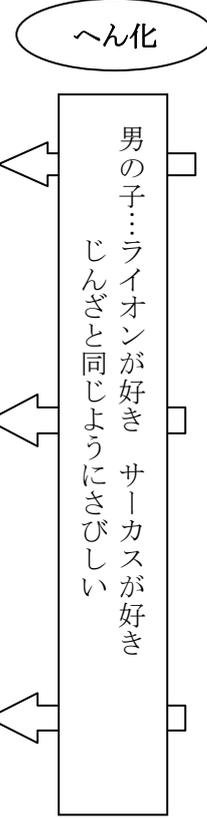
心情曲線は、広用紙を選び、授業前に児童が短冊に書いておき、授業から児童の気持ちの振り返りをする。

理由

さびしかった 元気がなかった たいくつそう

男の子…ライオンが好き サークスが好き  
じんざと同じようにさびしい

さびしくなくなった 元気が出てきた 楽しくなった



【4 / 8 時間目 指導略案】 使用するワークシート②④

活動のねらい  
少年との出会いにより、少しずつ変化していくじんざの気持ちを叙述に基づいて読み取ることができるようになる。

1 前時を振り返り、本時のめあてを確認する。

- 一の場面からじんざのおかれている状況を確認し、じんざの気持ちを心情曲線に表す。(じんざの顔を貼る)。

※ 心情曲線の座標は、この物語の内容に合わせて、教師で板書のように設定しました。

2 学習場面を音読する。

- じんざの顔を心情曲線に貼ることと、そこに貼る根拠となったじんざの気持ちが表れている一文を付せんに書き抜くことを伝え、全員に二の場面を音読させる。

3 じんざの気持ちについて、自分の考えをもつ。

【発問】二の場面のじんざの気持ちはどう変わったでしょう。

- ① 心情曲線にじんざの顔を置く。

- ② じんざの顔の位置を決めた根拠となる大事な一文を付せんに書く。

- ③ 付せんにワークシートに移動させ、その一文を選んだ理由を書く。

4 じんざの気持ちについて話し合う。① ペアで ② 全体で

- じんざの気持ちの変化が分かるように、児童の発言を板書で整理していく。

- 理由の中にじんざの気持ちを想像した言葉を用いている児童は賞賛する。

- 児童の発言を基に、じんざが男の子と出会ったことにより、元気になることとを確認する。

5 二の場面のじんざの気持ちの変化を考えながら、じんざの顔の位置を決めて貼りつける。

- 話し合い後、大事な一文や選んだ理由が、変わった児童は書き加えることを告げる。

【評価】 叙述を基に、じんざの気持ちの変化をとらえることができる。(1)

6 本時の学習をまとめ、次時は三の場面を学習することを知らせる。

- ワークシートで自己評価をする。